

まほろば秦野通信

平成28年2月4日

秦野市役所市長室広報課

タイトル	平成27年度次世代育成アカデミー政策提言発表会 「秦野市からの地方創生」～人口減少時代における秦野市への提言～
When (いつ)	2月17日(水曜日) 午後6時
Where (どこで)	文化会館(秦野市平沢82)小ホール
Who (だれが)	発表者: 秦野市職員(16名) 講評者: 秦野市長 古谷義幸 産業能率大学情報マネジメント学部 齊藤進 教授 帝京大学経済学部 茅野英一 教授 東海大学政治経済学部 小林隆 教授 聴講者: 聴講自由
What (なにを)	人口減少時代の秦野市を担う将来の幹部職員を育成することを目的とした研修「次世代育成アカデミー」の一環として、受講生による政策提言の発表会を行います。テーマは「秦野市からの地方創生」～人口減少時代における秦野市への提言～です。4グループが政策提言を行い、各グループの内容について講評者が質疑を行います。
How (どのように)	
Why (なぜ)	<p>本市では今後数年の間に職員の大量退職を控えており、その多くは管理職職員です。また、日本創生会議が発表した人口減少による地方都市の消滅可能性の問題が大きく取り上げられ、今後の地方自治における施策のあり方を考え直す機会となりました。</p> <p>職員の大量退職により、これまで本市の施策を支えてきた職員の知識や経験等をいかに次世代へ継承させていくかという大きな課題がある一方で、若い職員による新たな発想や団結力により、人口減少時代において本市が大きく躍進する機会がきているとも考えています。そこで、職員の大量退職への対応と時代の変化を感じ取る鋭い経営感覚を持った<u>次世代の管理職職員を養成すること</u>を目的として、「次世代育成アカデミー」を開講しました。</p> <p>この研修は、これまでの経験年数や役職に応じて全員が受講する「階層別研修」とは異なり、意欲が高く、将来を期待されている若手職員が管理職職員になるための「登竜門」として位置付けています。この研修の集大成として、政策提言発表会を行い、秦野市の地方創生について共に考え、政策として実現させていく機会とします。</p>
過去の実績	今年度から実施します。
今後の取り組み	参加者の感想などを参考にして来年度も実施していきます。
問い合わせ	市長室人事課人材育成担当 担当: 大庭 電話0463(82)5120



平成27年度
次世代育成アカデミー
政策提言発表会

「秦野市からの地方創生」
～人口減少時代における秦野市への提言～

平成28年2月17日

はだの職員づくり研修所

発表会次第

1. 開式 (18:00~)
2. 政策提言発表 (各班 発表 15分 質疑 5分)
3. 全体講評
【講評者】
産業能率大学情報マネジメント学部 斉藤進 教授
帝京大学経済学部 茅野英一 教授
東海大学政治経済学部 小林隆 教授
4. 市長あいさつ
5. 閉式

【平成27年度受講生名簿】

公共施設再配置推進課	久保谷 敏行	道路整備課	齋藤 裕紀
人事課	大庭 孝浩	開発指導課	上松 太一
債権回収課	清重 祥子	下水道河川整備課	三野輪 茂
高齢介護課	渡辺 健	水道施設課	松澤 和則
健康づくり課	深川 やよい	議会事務局	笹森 信之
環境資源対策課	田上 文博	生涯学習課	室田 亮介
農産課	小清水 智	消防総務課	岡部 靖彦
道路整備課	伊丹 智栄	警防対策課	高橋 英士

「人口減少時代における秦野市への提言」

政策提案1. 「未来に向かって輝き続ける都市を目指して ~スマート
インターチェンジを活用した土地利用政策~」

【指導職員】 都市政策課 課長 小谷幹夫

【班員】 清重 祥子 伊丹 智栄 田上 文博 笹森 信之

政策提案2. 「秦野SAスマートインターチェンジを活かした地域活性
化 ~いかに人を集める「化」~」

【指導職員】 国県事業推進課 専任主幹(兼) 課長代理 佐藤伸一

【班員】 岡部 靖彦 久保谷 敏行 齋藤 裕紀 渡辺 健

政策提案3. 「輝き続けるまちを目指して ~持続可能なまちづくりへの
挑戦~」

【指導職員】 文書法制課 参事(兼) 課長 栗原裕二

【班員】 大庭 孝浩 上松 太一 三野輪 茂 深川 やよい

政策提案4. 「人口減少社会における公民連携による子育て支援施策に
ついて」

【指導職員】 広報課 課長 梶山孝夫

【班員】 小清水 智 高橋 英士 室田 亮介 松澤 和則